

シゴカ（刺五加）

語源

刺五加とは、トゲのある五加（ウコギ）のこと。中国では古くからウコギのことを五加と読んでいたが、五という数はウコギの5枚の小葉のことを指す。

学名の別名 *Acanthopanax*は、ギリシャ語でアカンタ（トゲ、針）＋パナクス（オタネニンジン属）から来ている。

また、*senticosus*はラテン語で「トゲの多い」という意味。

基原

エゾウコギ（蝦夷五加）

Eleutherococcus senticosus (= *Acanthopanax senticosus*)

ウコギ科 落葉低木

和名の別名として、シベリア人参とも呼ばれる。



photo by Stanislav Doronenko
CC-BY-SA, from Wikimedia Commons

薬用部分

根、根茎

産地

北海道、シベリア東部、朝鮮半島、中国

主な薬効

血管を拡張して血圧を降下させ、中枢神経に作用して鎮静する作用が認められ、人参よりすぐれたアダプトゲン(※)様の作用によって筋肉の抵抗力を増加させる。強壮、鎮静薬としてリウマチ、神経痛、脚気、水腫、失眠(不眠)、食欲不振、疲労回復などに用いられる。

※アダプトゲン… ①無害である、②様々なストレス因子に対し抵抗力を高める、③生理機能を正常化するという作用を持つ物質。



主な成分

サポニン： エレウテロシド

エレウテロシドは、オタネニンジンの有効成分ジンセノシドと同様にサポニンの一種である。

「β-エンドルフィン」の分泌を促進する作用があるとされている。

主な用途

シゴカは、1960年代に旧ソ連でニンジンと同じウコギ科ということから薬効の研究が始まり、以降、西洋でも知られるようになった。

日本の漢方ではシゴカを利用した処方はないが、滋養強壮・肉体疲労・抗ストレス対応のドリンク剤などに利用されている。また、1980年のモスクワオリンピックでは、ソ連が選手団の強化にシゴカのエキスを利用していただけ、話題になった。

文献報告

【抗アルツハイマー】

Active components from Siberian ginseng (*Eleutherococcus senticosus*) for protection of amyloid β (25-35)-induced neuritic atrophy in cultured rat cortical neurons.

J Nat Med. 2011 Feb 8. [Epub ahead of print]

【抗疲労】

Bioactivity-guided fractionation for anti-fatigue property of *Acanthopanax senticosus*.

J Ethnopharmacol. 2011, 133, 213-9

【抗ウイルス】

Antiviral activity of an extract derived from roots of *Eleutherococcus senticosus*.

Antiviral Res. 2001, 50, 223-8

※参考文献：「生薬単」「漢方のくすりの事典」「原色牧野和漢薬草大図鑑」

⚠ この資料は業者間取引用の説明資料です。一般消費者の方への販促資料としてはお使いにならないようお願いいたします。



健やかな未来を創る自然の力

福田龍株式会社

(お問い合わせ) 〒530-0047大阪市北区西天満1-5-11

TEL: 06-6364-5861 FAX: 06-6364-6562

URL: www.fukudaryu.co.jp

Power of Kanpou